

## (7) 栄養教諭部会

会 長 植木 南 (西土佐小)  
副会長 土居 宜加 (中村南小)  
事務局 大原 景子 (東山小)

### 1. 研究主題 「学校給食を活用した食育の推進を目指して」

### 2. 研究の実績

実施年月日	研究のあらまし	会場
6月11日(木)	・役員選出、研究主題設定 ・新型コロナウイルス感染症に対応した学校給食の配慮について確認	スクールミール なかむらみなみ
9月10日(木)	・みそ汁コンテスト審査 ・献立検討 ・食生活調査考察	スクールミール なかむらみなみ
11月5日(木)	・調理場衛生チェック ・給食主任会について	スクールミール ひがしやま
12月17日(木)	・給食時の指導資料について確認 ・給食レシピ集作成	スクールミール なかむらみなみ
1月21日(木) ※予定	・今年度の反省及び来年度の計画	スクールミール なかむらみなみ

### 3. 主な取り組み内容

#### (1) 食生活調査

対 象 : 小学校5年生 237名、中学校2年生 201名

期 間 : 6月9日～11日のうち1日

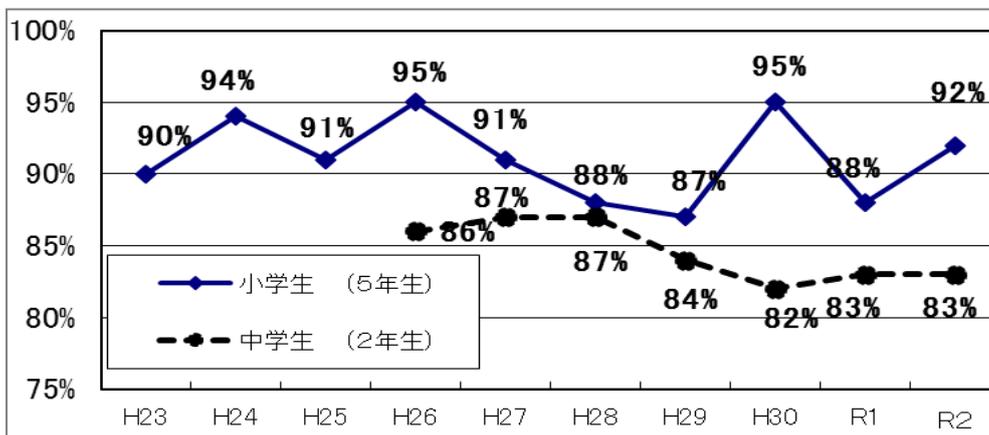
内 容 : 朝食の摂取状況、朝食の食事内容等

情報発信: 「食育だより」(対象児童生徒、教職員)

「給食だより」(市内小中全員)

結 果 : 「毎日朝食を食べているか」の問いに関しては、昨年と比べると中学生は83%で変化はなかった。小学生は88%から92%へと増加した一方で、ほとんど食べない児童も増えていた。いずれも、四万十市教育振興基本計画の目標値(朝食を必ず食べる:小学生95%、中学生90%)は達成できなかった。

※毎朝必ず朝食を食べる児童生徒の割合(推移)



## (2) みそ汁コンテスト

目的：食生活調査から見える現状（朝食摂取率目標値未満、野菜の摂取不足）や、朝ごはんの大切さ、和食のよさ等から、朝の忙しい時間でも野菜が効率的にとれ、朝食メニューの定番でもある「みそ汁」を題材にコンテストを実施し、自らの力でみそ汁づくりに取り組むことで、朝食でのバランスのとれた食事内容について関心を高める。

対象：四万十市内の小学5年生、6年生および中学生

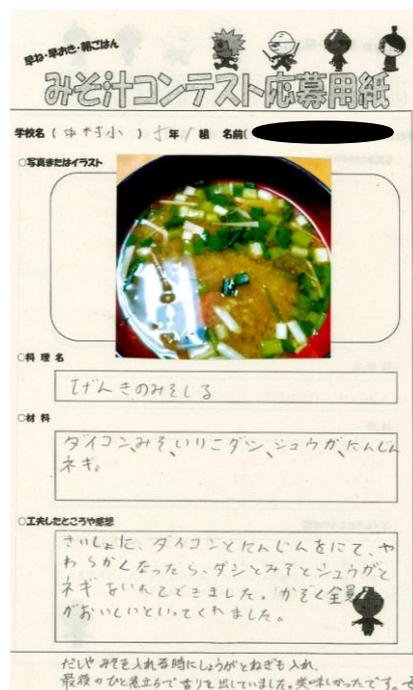
内容：自らの力で、野菜がたっぷり入った、朝ごはんにぴったりなみそ汁を作る。

応募数：小学生 313 点（10 校）、中学生 75 点（5 校）

合計 388 点

結果：各学校や学級で代表 1 点を選出し、給食の献立として 11 月以降に取り入れる。

入賞者には賞状を授与するとともに、給食だより及び放送資料で紹介する。



## (3) 新型コロナウイルス感染症に対応した学校給食の配慮

目的：「新型コロナウイルス感染症対策の現状を踏まえた学校教育活動に関する提言」（令和 2 年 5 月 1 日付け初等中等教育局長通知）を受け、学校給食での配慮事項を、栄養教諭及び教育委員会で確認した。

内容：配膳の過程を簡略化し、関わる人数や時間を減らす工夫として、可能な限り品数の少ない献立で適切な栄養摂取ができるような献立作成を心がけることとした。

- ・栄養面への考慮から、おかずは 3 品以下を目安として献立を作成する。
- ・配膳が早くできる工夫として、主菜となるおかずはなるべく個数ものとする。
- ・デザートは袋入りや個数ものを使用し、衛生面にも配慮する。
- ・カレーライスや丼、まぜごはんなど早く食べられる組み合わせの献立を週 1 回程度取り入れる。

## 4. 成果と課題

○4 回目を迎えたみそ汁コンテストでは、応募数が 388 点となった。夏休みの課題として取り組んでくれる学校が定着してきたように感じる。

○食生活調査を継続して実施でき、児童生徒の傾向や課題点などを考察することが出来た。

●食生活調査の結果では、小学生、中学生ともに四万十市教育振興基本計画の目標値を達成できなかった。今後は指導の充実を図っていくとともに、学校給食を通じた啓発（みそ汁コンテストや放送等）も続けていきたい。

●例年参加していた食育イベントが中止となり、地域の方への食育の啓発が出来なかった。

●部会の内容を精選し頻度を減らしたことで、食に関する指導についての検討が十分にできなかった。来年度は、部会の内容・頻度など改めて見直し、食育の指導案を作成していきたい。